

# 令和2年度 ろうきんCUP(U-10)少年サッカー大会 開催要項

- 1 名称 令和2年度 ろうきんCUP(U-10)少年サッカー大会
- 2 主催 千歳地区サッカー協会
- 3 主管 恵庭サッカー協会 千歳サッカー協会
- 4 担当 千歳市内チーム
- 5 協賛 北海道労働金庫 千歳支店
- 6 期日 2020年9月21・22日(月・火)
- 7 会場 恵庭市ルマツ自然公園ふれらんど多目的広場
- 8 参加資格
  - (1) 「参加チーム」は大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
  - (2) 上記「参加チーム」の構成は基本的には単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続して活動していること。ただし、U-10(小学校4年以下)の選手が少数のため、単一「加盟チーム」では参加できない場合、合同チームの参加を認める。
  - (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属するU-10(小学校4年以下)の選手であること。ただし、U-6の選手の参加は認めないものとする。
  - (4) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であり、本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。引率指導者の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。  
ただし、2019年度D級コーチ養成講習会(道央)に受講予定だった者は特例としてベンチ入りを認める。
  - (5) 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。また、「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。
- 9 競技規則
  - (1) 公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
  - (2) 競技のフィールド
    - ・ フィールドの長さ(タッチライン)は60m、幅(ゴールライン)40mとする。
    - ・ ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
    - ・ その他ペナルティエリア等の長さに関しては「8人制サッカー競技規則」に準ずる。
  - (3) 試合球 少年用4号球を使用する。
  - (4) 競技者の数および交代
    - ・ 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーと
    - ・ 登録できる交代要員および交代の最大人数は12名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
    - ・ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
  - (5) 競技者の用具
    - ・ 競技者の用具については、公益財団法人日本サッカー協会「サッカー競技規則」「8人制サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従うものとする。ただし、ユニフォーム規定第4条の規定にかかわらず、登録していないユニフォームを着用することができる。
    - ・ 選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
    - ・ ユニフォームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。
  - (6) テクニカルエリア
    - ・ テクニカルエリア(ベンチ)に入ることができる人数は、交代要員8名、引率指導者2名以上4名以下とする。
    - ・ その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

- (7) 審判員
  - ・ 1人の主審と補助審判が指名される。
- (8) 試合時間
  - ・ 試合時間は全ての試合において前、後半とも12分間とし、ハーフタイムのインターバル（前半終了の笛から後半開始まで）は3分とする。
  - ・ ただし、決勝戦において24分間で同点の場合、前半、後半3分ずつの延長戦を行い、なおも決しないときはいわゆるPK方式で勝者となるチームを決定する。延長戦に入る前のインターバルは3分、ペナルティーマークからのキックに入るまでのインターバルは1分とする。
- (9) 警告・退場
  - ・ 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
  - ・ 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
  - ・ 本大会の異なる試合において警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場で
  - ・ 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は千歳地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。

## 10 競技方法

- (1) 予選は2ブロック編成とし、1ブロックの所属は5チームとする。
- (2) ブロック予選リーグで1位・2位のチームが決勝トーナメントに進出する。
- (3) リーグ戦での順位の設定は 勝ち点 得失点差 総得点 総失点 当該対戦勝者 同率の場合は3人PK(4人目以降サドンデス)とする。なお、PK戦の前に登録選手より8名を<sup>選出し主審に通知する</sup>。
- (4) ブロック予選リーグで3位および4位のチームはチャレンジリーグに参加する。
- (5) 決勝トーナメントにおいて、24分間で勝敗が決しない場合はいわゆるPK方式で勝者となるチームを決定する。PKが3人で決しない場合、4人目以降はサドンデスとなる。
- (6) 決勝戦において24分間で勝敗が決しない場合は、6分間(3分-3分)の延長戦を行う。なお決しない場合はPK(3人)で決定する。更に同点の場合、4人目以降はサドンデスとなる。

## 11 参加料

7,000円

## 12 参加申込

参加チームは以下の手続きを期日までに完了すること。

- (1) ろうきんCUP参加申込書の提出  
所定の用紙をEメールで申込先宛に提出する。
- (2) 大会参加料は監督会議時徴収する。
- (3) 選手変更・追加登録は、所定の様式を使用しEメールにて申込宛に届け出のこと。
- (4) 参加申込書提出 令和2年8月31日(月)必着  
選手変更・追加登録締切 令和2年9月16日(水)必着

【申込先】 千歳地区サッカー協会第4種委員長 吉川公久 宛 e-mail yoshi777kawa@gmail.com

## 13 帯同審判員

- (1) 出場チームは公益財団法人日本サッカー協会審判員を帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。
- (2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。
- (3) 不帯同は認めない。

## 14 ユニフォーム

- (1) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを参加申込の際に記載し、各試合に必ず携行すること(FP/GK用共)ただし、FPがGKとしてプレーする時はビブスで良い。(固有の番号でなくてもよい)
- (2) 審判(黒色)と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規程」を遵守すること。
- (3) ユニフォームの色・背番号の参加申込以降の変更は認めない。
- (4) シャツの前面・背面に選手登録用紙に記載された選手固有の番号を付けること。

- 15 監督会議 9月4日(金)午後7時から千歳地区サッカー協会事務所で行う。(全チームの参加を義務付ける。)なお、監督会議には代行者(帯同審判・コーチ等)の参加も可とする。
- 16 開会式 行わない。
- 17 閉会式 決勝戦終了後、大会本部前において行う。優勝・準優勝および3位チームの選手・監督は全員参加することを原則とする。
- 18 その他
- (1) 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する場合がある。
  - (2) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は千歳地区サッカー協会4種委員会3役および審判部長等において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと
  - (3) 主催・主管等は、大会期間中の事故に関する一切の責任を負わないものとする。
  - (4) 参加チームは「千歳地区主催大会における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(千歳地区サッカー協会4種委員会)」を遵守するとともに、感染対策担当者は健康チェックシート及び参加チーム用チェックシートを大会初日に提出すること。

以上